



## きょうりゅう なまえ 恐竜の名前は、どうやってつけるの

### きょうりゅう なまえ ご 恐竜の名前は、ラテン語でつけられている

あらゆる動物や植物には、学名とよばれる名前がついています。学名は、ふつうよんでいる名前とは、ちがうこともあります。学名は、世界中の研究者が、共通の名前がないと不便だということで、一定の決まりをつくって、名前をつけることにしたものです。その生物の特長を表し、どの仲間に入っているかがわかるようにした名前前で、ラテン語(古代ローマで使われたことば)でつけることになっています。

きょうりゅう なまえ ご がくめい  
恐竜の名前は、このラテン語でつけられた学名です。

### きょうりゅう はっけんしゃ けんきゅうしゃ 恐竜の発見者や研究者がつける

たとえば、きょうぼうなティラノサウルスは、ティラノ(あばれんぼう)+サウルス(トカゲ)、ステゴサウルスは、背中の板のような骨が特長だから、ステゴ(屋根のような)+サウルス(トカゲ)と名付けられました。ティラノサウルスの名は、発見されたアメリカの考古学者オズボーンがつけたものです。角竜で最初に発見されたプロトケラトプスは、プロト(最初に)+ケラトプス(角をもった顔)、角を3本もったトリケラトプスは、トリ(3つ)+ケラトプス(角をもったもの)、鼻の上に小さい角をもったケラトサウルスは、ケラト(角)+サウルス(トカゲ)、前足が後ろ足より長かったブラキオサウルスは、ブラキオ(うで)+サウルス(トカゲ)といったぐあいです。

イグアノドンは、最初に歯の化石を発見したイギリスの医者マンテルが、今生きている巨大トカゲのイグアナの歯にそっくりだったことからつけた名前、イグアナ(イグアナのような)+ドン(歯)という意味です。(監修・今泉 忠明)

